

# 鹿島古墳群(深谷市)

鹿島古墳群航空写真/川本出土文化財管理センター 展示資料より/方角は上が北



鹿島古墳群は、荒川右岸の河岸段丘上に約2kmにわたって展開した、6世紀から8世紀にかけての群集墳で、現在56基が残存している(かつては100基以上の古墳が存在していたらしい)/現在は鹿島古墳公園として整備されている/南側から見たところ/前方に標柱や説明板が立っているのが見える



左手を見たところ



右手を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



「鹿島古墳群」と刻まれた標柱が立っている



標柱の背後のマウンドは83号墳/全て円墳





## 古墳

古墳とは、土を高く盛り上げ、内部に遺体を葬るための施設や副葬品が埋納されている墳墓である。築造は一般に三世紀後半から七世紀末までで、古墳時代と呼ばれている。

古墳の形には、前方後円墳、円墳、方墳などがあり、墳丘には埴輪はにわが置かれ、外側には周溝がめぐっている。埋葬施設には、粘土槨か、竪穴式石室、横穴式石室などがある。

県内には現在約三〇〇〇基の古墳があるが、最古の古墳は四世紀末の桶川市熊野神社古墳（円墳、粘土槨）とされている。五〜六世紀中ごろは、畿内の政権と政治的に結びついた首長の墳墓、すなわち行田市埼玉古墳群に代表されるような大型の前方後円墳が盛んに築造された。六世紀末から七世紀末になると、鹿島古墳群のように小円墳が密集する群集墳が各地に出現する。

また、この時期には、吉見百穴のような横穴墓群が比企、入間地方に造られた。

平成十一年九月

埼玉県

右手(東方向)を見たところ/前方の説明板の背後にもマウンドが見える/これは85号墳  
[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



## 鹿島古墳群

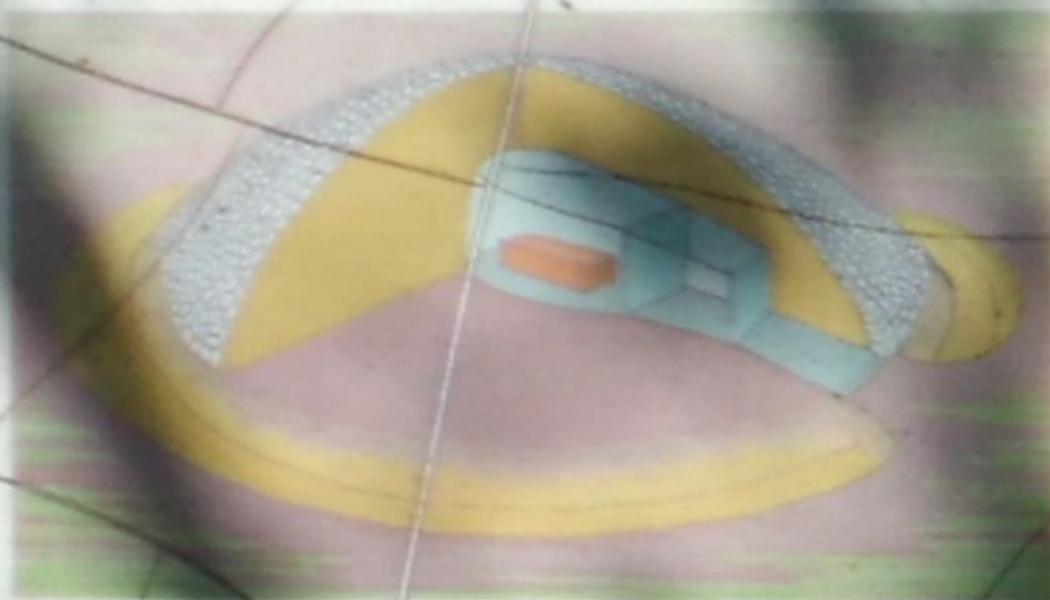
(埼玉県指定史跡)

鹿島古墳群は、荒川右岸の河岸段丘上に東西約一キロにわたって帯状に分布しています。古墳は径十メートル〜三十メートル程の円墳で、荒川よりに密集して分布し、大水によって流された古墳も数多くあったと伝えられています。

現在、県指定地の中には五十六基の円墳が保存され、指定地南側で発掘された二十七基の古墳やすでに失われた古墳をあわせると百基を越す大古墳群であったと推定されます。埴輪が立てられた古墳は少なく、七世紀を中心に八世紀初頭に至るまで次から次に築造された古墳時代最終期の古墳群と考えられています。

川本町内には鹿島古墳群のほかにも箱崎古墳群、塚原古墳群等が分布し、合計二百基近い古墳が確認されています。また、奈良時代には周辺に古代寺院や集落遺跡が発見され、古墳時代から奈良時代にかけて、この地域(男衾郡)の中心地として栄えていたようです。

鹿島古墳群は、この地域の歴史を代表する貴重な遺跡として、昭和四十七年に埼玉県指定史跡に指定され、現在広く活用していただくために古墳公園として整備を進めています。



## 鹿島古墳群の発掘

昭和45年の夏、保存区域の南側で、ほ場整備のために27基の円墳が発掘されました。石室はすべて側壁がふくらむ胴張り形をしており、鹿島古墳群を特徴づけています。

そこから83号墳を見たところ/南東側から見たところ



さて、まずは83号墳→85号墳→84号墳→93号墳→92号墳→89号墳→  
91号墳→94号墳と見てみよう



83号墳

東側から見たところ



北西側から見たところ



南側から見たところ



85号墳

西側から見たところ



墳丘の表面には葺石の名残が見られる/他の墳丘も同様だった



南側から見たところ



東側から見たところ/背後は83号墳



84号墳

西側から見たところ



北東側から見たところ/左手は85号墳、右手は83号墳



東側から見たところ/左手は83号墳、右手は82号墳

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



93号墳

西側から見たところ



南東側から見たところ/背後は89号墳



92号墳

南側から見たところ



西側から見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



89号墳

北西側から見たところ



南東側から見たところ



木々の中を覗いて見たところ



91号墳

南側から見たところ/扁平な形状の墳丘となっている



南東側から見たところ



西側から見たところ



94号墳

南側から見たところ



西側から見たところ/墳丘の山が二つあるように見える

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



さて、次は82号墳→78号墳→77号墳→76号墳→70号墳→67号墳→66号墳と見てみよう



82号墳

西側から見たところ



南側から見たところ



南東側から見たところ/左前方は78号墳



78号墳

南東側から見たところ/左手に説明板が立っている



残念ながら、この有様/何とかメンテナンスを望みたいものだ



北側から見たところ/左手は83号墳、右手は77号墳



西側から見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



77号墳

東側から見たところ/右前方は70号墳



西側から見たところ/背後は83号墳

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



76号墳

東側から見たところ



南西側から見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



70号墳

前方が70号墳/手前に石造物が立ち並ぶ/東側から見たところ



こんな塩梅/右手の大きなものは石室の石材の転用なのか・・・/背後は78号墳



南側から見たところ



西側から見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



67号墳

東側から見たところ



西側から見たところ



南側から見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



66号墳

南東側から見たところ



東側から見たところ



西側から見たところ

[\(クリックしてビデオを見る/墳丘上から見たところ\)](#)



さて、次は60号墳→58号墳(東)→57号墳(東)→57号墳(西)→58号墳(西)→54号墳→53号墳と見てみよう



60号墳

南側から見たところ



北西側から見たところ



58号墳(東)

小祠と玉石が置かれている/これは59号墳の名残なのか・・・

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



こちらが58号墳(東)/南側から見たところ



東側から見たところ



西側から見たところ



57号墳(東)

南側から見たところ



東側から見たところ



北西側から見たところ



57号墳(西)

南側から見たところ



東側から見たところ



西側から見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



58号墳(西)

南東側から見たところ



北西側から見たところ



北側から見たところ



54号墳

南側から見たところ/バリケードで囲われている



発掘調査中なのだろうか・・・



東側から見たところ



53号墳

南側から見たところ/木々で覆われている



東側から見たところ



西側から見たところ/左手は荒川の河川敷への崖となっている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



さて、次は52号墳→50号墳→49号墳→44号墳→46号墳→41号墳と見てみよう



52号墳

南東側から見たところ/52号墳と記された表示板が落ちている



こんな塩梅/墳頂には青い色の小祠？が載っている



南側から見たところ



北東側から見たところ/右奥は50号墳



50号墳

南側から見たところ/説明板が立っている



# 鹿島古墳群

所在地 大里郡川本町鹿島

荒川中流域における古墳群で、分布は川本町鹿島、本田、江南町押切の範囲に及び河岸段丘上約二キロメートルにわたっている。

現存する古墳五十六基は、小円墳がほとんどで荒川に近い古墳には埴輪を持ってしているものがある。

昭和四十五年に圃場整備事業に伴い県教育委員会により二十七基の古墳が発掘調査されている。主体部は荒川系の河原石を用いた若干胴の張る横穴式石室で、玄室には棺座を設けたものも見られた。天井、奥壁は緑泥片岩を使用していた。玄室と羨道の比は、二対一となり三十センチメートル（唐尺）の定尺となるものが認められている。

出土遺物には、玉類が少なく、鉄鏃、直刀、刀子、耳環などが多く出土している。

古墳の年代は奈良時代初期の住居跡の上に古墳が構築されているものがあり、七世紀初頭から八世紀初頭にかけてつくられたものと推定される。

古墳の埋葬者は、在地において先進的な役割を果たした豪族であろうと思われる。

荒川旧流域を代表する最も保存の良い古墳群で、埼玉県古墳文化の地域研究の上で貴重なものである。昭和四十七年三月二十一日、県の史跡として指定されている。

平成十一年九月

埼玉県

東側から見たところ



北西側から見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



49号墳

南側から見たところ



北東側から見たところ



北側から見たところ



44号墳

北東側から見たところ



北側から見たところ



西側から見たところ



46号墳

南側から見たところ



北側から見たところ



北西側から見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



41号墳

南西側から見たところ



南東側から見たところ/この辺りの民家の周辺並びに畑地の中にも残された墳丘があるようだが、私有地のためここで終了！



さて、古墳群の背後の荒川河川敷は白鳥の飛来地となっているようだ/正面の通行止めの道を下りて行く



この先が河川敷



正面が荒川/河川敷で白鳥を探してみたが、残念ながら見当たらなかった・・・ [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



さて、ここは対岸にある川本出土文化財管理センター



かしまこふんぐん

### 鹿島古墳群(県指定文化財)

荒川の右岸に立地しており、現在 56 基の古墳が保存されていますが、既に消滅しているものを含めると、100 基以上の古墳が存在していたと推定されています。残存している古墳の数が多く、保存状態が良いこと等が特徴であり、県内を代表する古墳時代後期～終末期の古墳群といえます。

これまでの発掘調査によって、葺石（ふきいし：古墳の表面を覆う石）や石室（せきしつ：死者が安置される部屋）に荒川の河原石が用いられていたことがわかっています。また直刀（ちよくとう：反りのない、まっすぐな刀）や鉄鉾（てつほこ：両刃の剣に柄をつけたもの。槍のような武器）、金環（きんかん：金メッキが施された青銅製の耳飾）などの副葬品（ふくそうひん：生前の使ったものなどで、死者に添えて埋められたもの）が見つかっています。近年の発掘調査では、円筒埴輪、形象埴輪をもつ古墳も確認されています。古墳群は、6 世紀後半から 8 世紀の初めに築かれたと考えられています。

これはその近くから、正面に鹿島古墳群が所在する対岸の川岸を見たところ



さて、ここは鹿島古墳群の背後の河川敷とは反対側の丘陵状にある工業団地で、この工場建設に先立っての調査で百済木遺跡が発掘されている/百済木遺跡では古代の武蔵国男衾郡の開発の拠点ともいえる建物群が発見され、埼玉県初の豪族居宅跡と認定されたと云う/鹿島古墳群の被葬者は、その開発に携わった渡来系の祖先達と想定されているらしい/この地に移住して来た百済系の渡来人が在地豪族化して、やがて武蔵国男衾郡の郡衙官人に任命されていく/その一人が武蔵国分寺の七重塔の再建に当たって私財を投じたと伝わる壬生吉志福正と云う [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



## 参考ホームページ

<https://massneko.hatenablog.com/entry/2016/01/14/183000>

<http://nipponsanpo.fc2web.com/sanpo/sanpo200305232.html>

[https://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/67\\_kwmt/kashima1.html](https://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/67_kwmt/kashima1.html)

[https://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/67\\_kwmt/kashima2.html](https://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/67_kwmt/kashima2.html)

[https://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/67\\_kwmt/kashima3.html](https://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/67_kwmt/kashima3.html)

[https://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/67\\_kwmt/kashima4.html](https://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/67_kwmt/kashima4.html)

<http://saihokuhobito.blog137.fc2.com/blog-entry-1090.html>

<http://yoshida-kofun.in.coocan.jp/saifukawa.htm#kashima>

